

# SHALL WE PORT?

～国際交流・国際理解への旅～

Vol.12  
(2012.7)

発行元 / 財団法人新潟県国際交流協会 Niigata International Association

## CONTENTS

### ■特集

外国人と家族になろう。

ホストファミリーの生活  
ホームステイすること

【寄稿】

ホストファミリー そのすばらしさ

(公財)AFS日本協会新潟支部

小池 泰子さん

■JICA新潟デスクインタビュー

■NIAインフォメーション

国際理解教育プレゼンテーションコンテストほか



## 外国人と家族になろう。

～ホストファミリーという素敵な生活～

日本の技術や知識を学ぶため、新潟県内にも数多くの留学生等が訪れています。外国人留学生等にとって、日本人家庭での生活は日本文化に直接触れることのできる貴重な経験となるため、その多くがホームステイを希望しています。一方外国人を受け入れる日本人家庭はなかなか増加せず、多くの留学生等がアパートや寮などで生活しているのが現状です。では、どうすればホストファミリーの不安や疑問を解消し、家族ぐるみの異文化交流を楽しむことができるのでしょうか。今回はホストファミリーや留学生、海外でホームステイ体験をした方などからお話を伺い、その魅力を探ってきたいと思います。



言葉はそれほど重要ではない。大切なのは相手を思うこと。～ホストファミリーの生活～

ホストファミリーはどんな生活を送っているの?言葉や文化の違いからトラブルはない?まずは、約10カ月ニュージーランドからの留学生ケーラン・メゼレル君(新発田中央高校2年)を受け入れている新発田市の長谷川貢一さん一家に実際の生活についてお話を伺いました。



左から母・佳恵さん、  
ケーラン君(高2)、次男・直人君(小5)、長男・達也君(高2)、  
祖母・フミ子さん、父・貢一さん

—今回留学生を受け入れたきっかけは。

(母・佳恵さん)昨年11月に初めて1週間の受け入れを体験しました。その時楽しかったことと、子どもたちに何かしら良い影響がある、またいい経験になる!と確信し、今回長期で留学生を受け入れることにしました。

—長期の受け入れに不安はありましたか。

(佳恵さん)1週間の体験が楽しかったの

で、特にありませんでした。あえて言うなら、食べ物の好みやアレルギーの有無なのですが、事前にしっかりと調査票をもらっていたので、問題ありませんでした。(父・貢一さん)1週間の時は気軽に受け入れられた半面、どちらかと言えば「お客様」として接していたので、長期間一緒に暮らすことへの漠然とした不安はありました。

—実際にケーラン君と一緒に生活を始めて、いかがですか。

(貢一さん)ケーランは挨拶もしっかりできるし、たくさん話をしてくれて、家族にも自然に接してくれる、本当にいい子です。他の家族と全く変わらずに接しています。

—ケーラン君は、日本文化に戸惑うことなどありませんか。

(ケーラン君)お風呂の文化が違うことくら

いですが、新潟に来る前に東京で研修してきたので、困ることはありません。ニュージーランドでは毎朝シャワーを浴びていたけど、ここでは朝皆が忙しいので家族と同じように夜入ります。困ることは全くないけど、僕の名前の発音にはちょっと戸惑うかな?(表記はKieran)



—言葉の問題はありませんか。

(佳恵さん)家族は中学・高校レベルの英語力ですが、言葉が問題になることはほとんど

どありません。ケーランは母国でも日本語を勉強していたし、日本語への好奇心も強く上達も早いので、基本的には日本語で生活しています。その中で、知っている英単語を使ったり、身ぶり手ぶりや表情、どうしても分からない時には紙に書いて説明し合ったりしてコミュニケーションを取って



ます。一生懸命聞いてあげること、徐々に心が通じ合ってきます。

### 一普段はどんな生活を送っているのですか。

(佳恵さん)子どもたちとゲームをしたり、居間で話しをしたり、ビデオを見たり、近所を散歩したり、いつもと変わらない生活です。文化の違いや言葉、コミュニケーションなどに戸惑い、疲れることも多いと思うので、家が癒しの場となればと考えています。周りの方から「大変でしょ?」と聞かれますが、全くそんなことはありません。食事やお弁当が一人分増えただけ。祖母は英語がほとんど分からないので最初少し心配していたようですが、今ではケーランのズボンの

すそ上げをしてあげたり、お互い自然な気遣いできています。また、私たちホストファミリーだけの力では解決できないことは募集团体のスタッフの方々がいつでもサポートしてくださるので、安心しています。

### 一ホストファミリーになってみたいと考えている方にメッセージをお願いします。

(佳恵さん)ポイントはお母さん。お母さんが楽しいと、家族みんなが楽しくなるのです。

(貢一さん)言葉はそれほど重要ではなく、大切なのは相手を思うこと。いろいろ心配なことはあるかもしれませんが、短期の体験などで、まずはトライしてみてください。

## 世界のどこかにもう一人の家族ができる ~ホームステイすること~

アメリカでのホームステイ体験を通し、深く自分自身を見つめ直した廣川愛さん(県立新潟高校3年)。その経験からホームステイの意義を語っていただきました。

### 一ホームステイをしようと思ったきっかけは。

何度かホストファミリーをした経験から、以前より留学、とりわけホームステイに興味を持っていました。あるとき新聞で高校生向け留学奨学金とAFSの存在を知り、二度とないチャンスだと思ったので、この機会にホームステイに挑戦してみようと思いました。

### 一ホストファミリーとの生活はいかがでしたか。

最初のうちは言葉の壁があり、思うように気持ちを伝えられず大変でした。しかし、

とにかく思いを口に出してみようと意識を変えてからは、どんどん言葉が上達してコミュニケーションが円滑に運ぶようになり、ファミリーとの絆もより一層深まりました。帰国時に涙ながらに全員で堅いハグをしたことは忘れられません。

### 一ホームステイやホストファミリーを通して交流する楽しさは。

お互い育ってきた環境が全く違うので、最初は戸惑うことやぶつかり合うことがたくさんあると思います。ですが、私たちはいつしか国の枠を超え、お互いを本当の家族のように思うようになりました。世界のど



左からホストシスター(次女)、廣川さん、ホストシスター(長女)

こかにもう一人の家族ができることは本当に素晴らしいことだと思います。是非一度この素晴らしさを体験してみてください!

## ホストファミリー そのすばらしさ

公益財団法人AFS日本協会新潟支部 小池 泰子さん

ホームステイ交流は、戦争を体験した人々によって平和への願いを込めて始められました。お互いを理解するために、その家庭生活をともにしてみようという試みです。何度も日本を訪問した外国の人でも、ホームステイを一度体験すると、日本の印象が大きく変わると言います。ホテル滞在では得られない人々との触れ合い、思いやりや優しさという人情に触れる経験が、その人にとっての日本を特別な国にするのです。ただし、文化の違いは、時に誤解や偏見を生むもので、そう簡単に理解し合えるものではありません。異文化の人々と直接触れ合う経験を積み重ねてこそ、摩擦に対応す

る力とお互いを認め尊重する精神が生まれます。ホームステイは、そのための絶好の機会となります。

新潟県内でも様々な団体がホームステイ交流を実施していますが、まだまだホストファミリーが不足しています。異文化理解は体験に始まります。ホストファミリーとして世界の人々と交流してみたいかがでしょうか。きっと、皆さんの世界観が変わり、同時に、世界中に新潟のファンが増えていくことになるでしょう。

ただし、ホストファミリーに応募する場合は、募集する団体が信用できるかの確認は必要です。この点ご注意ください。

新潟県国際交流協会のホストファミリー講座概要・申込方法は4面に掲載しました。



ホストファミリー、留学生、海外ホームステイ体験者、専門家の方々からお話を伺い見えてきたホストファミリーへの不安や疑問に対する対処法。そのポイントをまとめてみました。



## ホストファミリーの条件

- **家族全員が賛成していること**  
家族全員で早く受け入れられなければ、ゲストは安心して生活できません。
- **一人暮らしではないこと**  
複数名の家族で受け入れることが条件です。寝室は一人部屋か同性の家族との同室が必要です。
- **募集团体を確認すること**  
ホストファミリーは基本的にボランティアです。だからこそ募集团体が信頼できるか、また問題発生時のフォロー体制が整っているか、申込の前に良く確認することが必要です。

## 不安解消ポイント!

- **語学力は二の次!**  
多くのゲストは日本語を学習したいと思っています。自分や家族が外国語を話せないからと言って尻込みせず、逆に日本語を教えるつもりで、たくさん話しましょう。
- **特別なおもてなしは不要!**  
ゲストはお客様ではなく家族なので、特別なおもてなしの必要はありません。普段の生活の中で、日本の文化と一緒に体験しましょう。ただ、相手がどうしても受け入れられないことは強要しないようにしましょう。
- **もしトラブルが起きたら!**  
最初に日本の生活習慣や家庭内のルールを伝えておくことが大切です。でももし問題が発生したら思っていることを積極的に伝え話し合しましょう。また、病気等の時は募集团体に相談しましょう。

## 県内の主なホストファミリー事業実施団体

※現在ホストファミリー募集期間外の団体もありますので、詳細は各団体にお問い合わせください。  
※(財)新潟県国際交流協会のホストファミリー講座の詳細は4面に掲載しました。

- **(公財)新潟市国際交流協会** ※時期によりホストファミリー体験募集あり  
〒951-8055 新潟市中央区礎町通三ノ町2086 クロスパルにいかた内  
TEL:025-225-2727
- **(財)長岡市国際交流協会** ※ホストファミリー登録あり  
〒940-0062 長岡市大手通2-2-6 ながおか市民センター内  
TEL:0258-39-2207
- **(社)上越国際交流協会** ※ホストファミリー登録あり  
〒943-0821 上越市土橋1914-3 TEL:025-527-3615

- **(公財)AFS日本協会**  
[東日本事務所]  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-22-14 ミツヤ虎ノ門ビル7F  
TEL:03-6206-1915 E-MAIL:info-niigata@afs.or.jp
- **(公財)ラポ国際交流センター** ※青少年教育のための相互国際交流の一環  
〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル16F  
TEL:03-5324-3430  
[新潟連絡所]  
TEL:025-260-1898(エノモト/財団普通会員)

## ちょっと聞き耳 INTERVIEW



新潟県国際交流協会には、国際協力機構(JICA)新潟デスクがあり、県内の国際理解の推進や国際協力ボランティアに関する相談など幅広い活動を行っています。今年度から新たに着任した本田龍輔国際協力推進員は、2010年1月から2012年1月まで、青年海外協力隊村落開発普及員としてパプアニューギニア(以下PNG)で活動した経験を持っています。コシヒカリと花火と日本酒をこよなく愛する生粋の小千谷っ子という本田さんにお話を伺いました。



### 何もないけど、全てがあると感じた日々

—協力隊に参加する前はどのような活動をされていましたか。

学生時代から国際協力に関心があり、開発学やファシリテーションについても学んできました。また、NGOの活動に参加し、

フィリピンやタイ、インド、タンザニアなどで海外ボランティアを経験してきました。PNGでの二年間で、すっかり現地人化してしまいましたが、日本に再適応しようとリハビリ中の毎日です。(笑)

—まだ肌寒さも残る春の新潟着任時、真っ黒に日焼けした姿が印象的でした(笑)。さて、青年海外協力隊に参加したきっかけを教えてください。

小学生の時に見た、砂漠の真ん中に電柱が一本だけ立っているポスターに衝撃を受けました。子供ながらに砂漠化の深刻さを感じたのを覚えています。具体的に協力隊を目指し始めたのは、高校生の時。講演会で国際協力に携わる方の話を聞き、自分も何か世界の役に立つ仕事かしたいと思い、協力隊に参加しようと決めました。

—村落開発普及員としての派遣でしたが、具体的にどのような活動をするのですか。

一言で言えば「村の何でも屋さん」です。現地のコミュニティに入り込み、そこで必要とされていることを、村の人たちと一緒に考えながら活動します。私の場合は、生活改善のための改良カマドの

普及、公衆衛生改善を目的とした石けん作りや手洗い講習会、小中学校での植林活動や環境教育ワークショップなどを行いました。

—PNGで印象に残った経験は。

最後の楽園と呼ばれるPNGは、1950年代まで外部との接触が無かった地域もあり、原始の生活が現代までそのまま残ったレアケースです。印象深いのは、出張で行った、電気もガスも水道も何も無い奥地の村での生活。そこに暮らす人々は本当に豊かで、彼らの笑顔を見ていると、何もないけど全てがあると感じた日々でした。

—本当の豊かさとはなにか、考えさせられますね。最後に、これから新潟県でどのような活動をしていきたいですか。

これまでに自分が得てきた経験を、新潟に還元していきたいです。これからの日本を担う世代に、広い世界を見て欲しいです。国際協力と地域活性が繋がって、世界も新潟も良くなっていくような活動がしたいですね。気になること、知りたいこと、何でもお問い合わせください。一緒に新潟を盛り上げていきましょう!



小学校での環境教育ワークショップ

JICA新潟デスクのホームページもご覧ください。

<http://www.jica.go.jp/hiroba/desk/niigata/index.html>

## 新潟県国際交流協会のホストファミリー講座

当協会では「ホストファミリー講座」を開催します。講座ではホストファミリーの基礎知識、皆さんが抱える疑問や不安の解消など、講師をお招きしてお話を伺う他、交流会も予定しています。講座を受講して、まずは体験してみたいという方には、ALT(外国語指導助手)や留学生を受け入れていただく1泊2日のホームステイ体験も実施します。

### <新潟会場>

- 日時: 8月25日(土) 13:00～15:00
- 会場: 新潟県国際交流協会研修室
- 定員: 20名

### <長岡会場>

- 日時: 9月2日(日) 13:00～15:00
- 会場: まちなかキャンパス長岡 4F 創作交流室
- 定員: 20名

### <申込方法>

当協会ホームページから申込書をダウンロードし、必要事項をご記入の上、8月17日(金)必着で、下記までメールかファックス、郵送でお申込みください。



平成23年度ホストファミリー講座(長岡市)の様様

## 国際理解教育プレゼンテーションコンテスト 出場者募集!

学校での教科、総合的な学習の時間、クラブ活動、地域での活動などにおける「国際理解」をテーマとしたプレゼンテーションコンテストに参加しませんか?各部門の最優秀賞受賞チームは、韓国・ソウルスタディツアーに派遣します(各部門 生徒3名・指導者1名)。出場者全員に参加賞もあります。

### 【平成24年度出場者募集】

- 日時: 平成24年12月15日(土) 10:00～17:00(予定)
- 会場: 朱鷺メッセ 中会議室
- 募集部門: 中学生部門・高校生部門 (各部門最大10チーム) 1チーム生徒3名以上+指導者(成人)1名以上
- 締切: 平成24年9月28日(金)必着
- 応募方法: 募集要項・応募用紙を下記ホームページからダウンロードし、郵送、FAX、E-MAILのいずれかでお申し込みください。
- ホームページ: <http://www.niigata-ia.or.jp/>
- 申込・問合せ: 〒950-0078 新潟県新潟市中央区万代島5-1 万代島ビル2階 電話:025-290-5650 FAX:025-249-8122 E-MAIL: nia21c@niigata-ia.or.jp



### 平成23年度韓国ソウルスタディツアー派遣報告

平成23年度プレゼンテーションコンテスト最優秀賞を受賞した新潟市立早通中学校、国立長岡工業高等専門学校NGK48を、平成24年3月24日から27日まで、韓国ソウルスタディツアーに派遣しました。ツアーでは、徳寿宮、昌徳宮等のソウル市内観光、韓国太鼓や礼節作法等の文化体験のほか、現地中学校での授業参加や交流会、ホームビジット、新潟県ソウル事務所訪問などを行いました。特に現地水落中学校では、英語と数学の授業に参加し、韓国学生の勉学に対する積極的な姿勢を身をもって体験。交流会では早通中学校生徒が総踊りを披露し、その迫力に韓国学生を驚かせていました。またホームビジットでは、通訳を介することなく、英語、韓国語、ボディランゲージでコミュニケーションを取る大切さを学ぶと同時に、かけがえのない友情を育みました。



### お知らせ1

#### 国際理解ワークショップ 実施校 募集

当協会がインストラクターに認定した大学生が学校等に出向き、「世界の現実」「世界の不平等」「異文化理解」をテーマとした国際理解を深めるためのワークショップを行います。

- 対象: 県内の小、中、高校
- 募集締切: 平成24年8月3日(金)
- 実施期間: ①平日>平成24年9月 平成25年2月～3月1日(金) ②土日・祝日>平成24年9月～ 平成25年3月3日(日)
- 時間: 90分程度(ご相談に応じます)
- 申込み方法: 実施要項と申込用紙を当協会ホームページからダウンロードし、FAXかE-MAILでお申し込みください。

### お知らせ2

#### 通訳翻訳ボランティア アースサポーター 募集

観光案内、レセプション等での通訳ボランティア、案内文書やパンフレット等の翻訳ボランティア、国際的なイベント等の運営補助をお願いするアースサポーターを募集します。

- 対象者: 満18歳以上
- 【通訳翻訳ボランティア】 日常会話の通訳、専門知識を要しない文書の翻訳が支障なくできる方。
- 【アースサポーター】 国際交流・協力に関するイベント等の企画・運営に興味や熱意のある方。
- 登録方法: 当協会ホームページから登録票をダウンロードし、必要事項を記入の上、FAXかE-MAILで登録してください。

### お知らせ3

#### 国際交流プラザ 「世界の子もたち絵画展」開催

地球環境世界児童画コンテストに寄せられた世界各国の子もたちの原画を展示します。夏休みのひと時、ぜひご家族やお友達同士で、世界に思いをはせ、地球環境について考えてみませんか。

- 日時: 平成24年7月28日(土)、7月30日(月)～8月31日(金) (7月28日(土)以外は平日のみ) 9:00～18:00
- 会場: 新潟県国際交流プラザ
- 入場料: 無料

